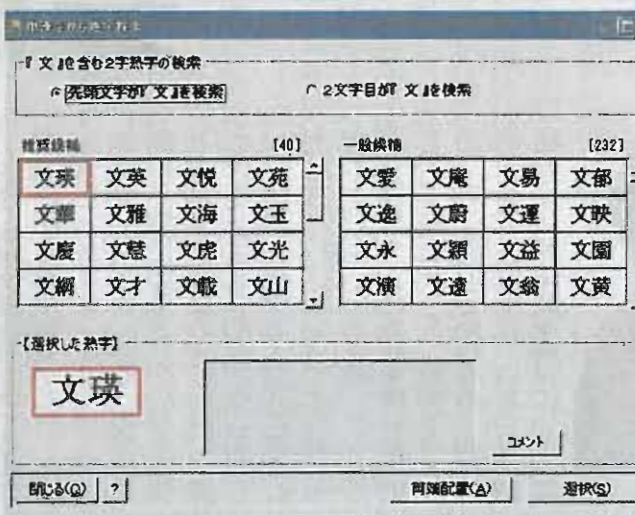


薄縁社会 戒名ソフト

故人の趣味や職業を入力すれば、ふさわしい戒名(法名)を提案してくれる。そんなパソコン用「戒名ソフト」を利用する寺が増えている。仏教界にじわりと広がるIT化の波。背景に何があるのか――。(坂本泰紀)

人となり知らぬ故人の依頼でも



職業・性格・趣味

入力30分で「文山泰心居士」

鎌倉時代から続く東京都内の古寺。70代の住職は、檀家でない故人の遺族から戒名の作成を頼まれると、パソコンを立ち上げ、戒名ソフトに遺族から聞き取った故人の性格や職業を入力すると、候補となる漢字が表示される。候補となる漢字が表

大東工業の戒名ソフトの画面。故人の職業や性格にちなんだ漢字が表示される

檀家減り 住職が利用

い。ソフトは困った時、辞書代わりにして参考にしています。年5万円 300寺入会

製造元は東京都目黒区の「大東工業」だ。電話工事が主業務の同社が、お寺向けのパソコンソフトを開発したのは約20年前。従業員の父親の僧侶が「檀家リストの整理ソフトを作って欲しい」と、鷲田芳之社長に頼んだのがきっかけ。試しに作ったところ大好評。さらに「戒名をつけるのも大事な仕事。手助けできないか」と思い立ち、戒名ソフトも製作した。

年会費5万円で会員になったお寺は檀家・墓地管理、収支計算などのソフトの提供もあわせ、更新やサポートのサービスを受けられる。全国約300寺が入会しており、年数カ所ずつ増えているという。

ソフトで戒名を付けるのは「邪道」との声もあるが、僧侶からは「京都の本山で会議があった時など、出張中もノートパソコンにソフトが入っていれば

安心」とおおむね好評だ。近畿地方にある仏教関連出版社も昨秋、戒名ソフトを発売した。インターネットでの販売が

中心だが、出荷数は約1千本。同社は戒名に使われる漢字の辞典を販売しており、ソフトはこれを電子化した。戒名の作成機能もついている。同社幹部は「戒名をつけるのに、パソコンを利用することには抵抗感もあった。でも、パソコンを使うお寺も増えており、販売に踏み切った」。

都内にある仏教関連出版社「四季社」も戒名作成ソフト「こぼんさんⅢ(5万9800円)を発売中。約500本を売り上げた。筒井義宏社長は「この先20代、30代のパソコン世代が住職になれば、さらに売り上げは伸びるだろう」とみる。

なぜ戒名ソフトが売れるのか。文化庁編「宗教年鑑」によると、2007年末現在の仏教系寺院は約7万7千でこの20年間

ほぼ横ばい。一方、信者数は約9千万人で、約5%減っている。寺院経営コンサルタント会社「日本テンブルヴァン」(東京)

の井上文夫社長は「この数字以上に檀家の減少は進んでいる」。井上社長によると、かつて戒名は自分の菩提寺の住職につけてもらうケースが多かった。しかし最近、都市部では菩提寺を持たない人が増加。井上社長は「故人の遺族が葬儀社を通じて、見ず知らずの住職に戒名の作成を頼むケースが増えている。頼まれた住職は故人の人となりや歴史を知らないから、ついでに戒名ソフトに頼ってしまうのではないかと分析する」。

一方、「戒名と日本人」の著書がある中央大学の保坂俊司教授(宗教学)は「親の寺を継いででも生計が成り立たないため別の仕事についていた息子が、親の死を契機に寺を継ぐケースが増えた」と話す。「実務に不慣れなまま寺を継いだため、戒名ソフトで作りを学んでいる住職も多いのでは」と指摘する。

戒名ソフトで記者(35歳)も戒名をつけてもらった。宗派で違いはあるが、戒名は漢字2字を二つ組みあわせるのが多

筆者の戒名 付けてみた

い。職業欄から報道マスコミを選ぶと「通」響など11字が表示された。その中から「文」を選んで検索すると、「文慈」「文海」など40候

補。後ろの2字は自分の名前の一字から検索、「泰雲」「泰源」など28候補が表示された。しばらく悩んで「文山」と「泰心」に。仏教徒の階級を示す位号を一般的な「居士」にして組みあわせると、「文山泰心居士」。30分で戒名が出来上がった。